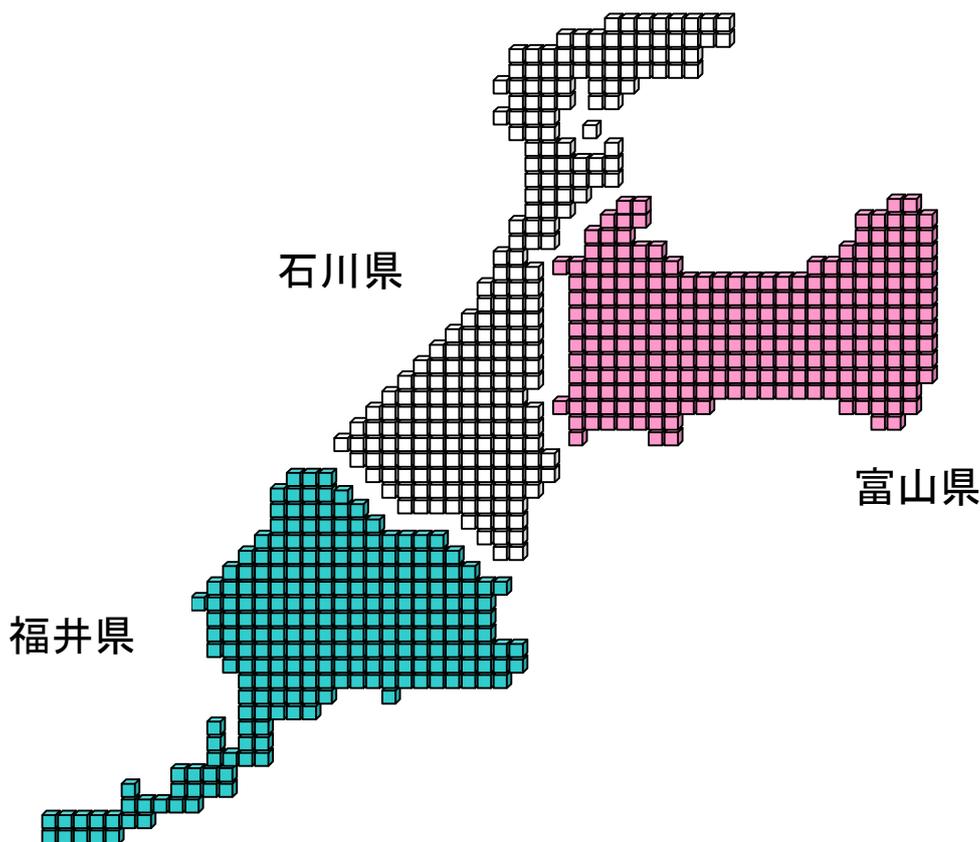


管内経済情勢報告



令和5年4月

財務省北陸財務局

お問合せ先
財務省 北陸財務局 経済調査課
TEL (076) 292-7858

1. 総論

【総括判断】「管内経済は、緩やかに持ち直している」

項目	前回（5年1月判断）	今回（5年4月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→

（注）5年4月判断は、前回1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、ドラッグストア販売が順調となっており、百貨店・スーパー販売が緩やかに持ち直していることなどから、全体では緩やかに持ち直している。生産活動は、生産用機械が拡大しているものの、電子部品・デバイスが弱まっていることなどから、全体では足踏みの状況にある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回（5年1月判断）	今回（5年4月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→
生産活動	回復に向けた動きに一服感がみられる	足踏みの状況にある	↘
雇用情勢	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→
設備投資	4年度は増加見込みとなっている	4年度は増加見込みとなっている	→
企業収益	4年度は増益見込みとなっている	4年度は減益見込みとなっている	↘
住宅建設	弱含んでいる	弱含んでいる	→

【先行き】

先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに持ち直している」

百貨店・スーパー販売は、スーパーでは飲食料品の動きがやや落ち着いていることから、前年を下回っているものの、百貨店では衣料品や高額品に動きがみられることから、前年を上回っており、全体では緩やかに持ち直している。コンビニエンスストア販売は、米飯類等に動きがみられることから、堅調となっている。ドラッグストア販売は、飲食料品等に動きがみられることに加え、新規出店効果がみられることから、順調となっている。ホームセンター販売は、日用品等の動きが鈍いことから、弱含んでいる。家電大型専門店販売は、パソコンに動きがみられるものの、テレビの動きが鈍いことから、横ばいの状況にある。新車販売台数は、小型乗用車は前年を下回っているものの、普通乗用車、軽乗用車は前年を上回っており、持ち直しつつある。主要観光地の入込客数及び主要温泉地の宿泊客数は前年を上回っている。旅行取扱実績は、海外旅行は厳しい状況にあるものの、国内旅行は全国旅行支援の効果により動きがみられる。以上のことから、個人消費については、緩やかに持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 外出意欲の高まりもあり、衣料品の売れ行きが良かったほか、高額品は依然としてコロナ前を上回る売上となっている。また、マスクの着用は個人の判断が基本となり、化粧品に動きがみられ始めている。(百貨店)
- 節分やひなまつり等のイベントでは惜しみなくお金を使う動きがみられる。一方、物価高やエネルギー価格の上昇を背景とした節約意識により、以前よりも特売日に売上が集中しており、それ以外の日は客数がやや鈍い。(スーパー、中小企業)
- 観光地周辺の店舗を中心に客数が増加しており、おにぎりなど米飯類の売れ行きが良い。(コンビニエンスストア、大企業)
- 飲食料品の売れ行きが良いほか、例年より花粉症関連商品に動きがみられる。(ドラッグストア、中堅企業)
- 物価高による節約意識の影響から他業態との競合が増しており、日用品の買上点数が減少している。(ホームセンター、大企業)
- OS のサポート終了に伴い、パソコンの買い替え需要がみられたものの、テレビの動きが鈍い。(家電大型専門店、中堅企業)
- 引き続き納車までの期間は長いものの、改善がみられている。また、受注は順調に推移している。(自動車販売店、中小企業)
- 1月以降は全国旅行支援の効果が薄れてきていると感じるものの、引き続き宿泊客数は回復傾向にある。(温泉地)
- 引き続き、外出意欲が高まっており、駅周辺を中心に人流が回復してきている。(商業施設、中小企業)

■ 生産活動 「足踏みの状況にある」

電子部品・デバイスは、スマートフォン向けが減少しているほか、自動車向けが弱含んでいることなどから、全体では弱まっている。化学は、大宗を占める医薬品で、持ち直している。生産用機械は、半導体製造装置が拡大の動きに一服感がみられるものの、繊維機械が拡大しているほか、金属加工機械が増加していることなどから、全体では拡大している。金属製品は、大宗を占めるアルミ建材で、ビル用が持ち直しつつあるものの、住宅用が足踏みの状況にあることから、持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。繊維は、衣料向け、非衣料向けともに緩やかに持ち直しつつある。以上のことから、生産活動については、足踏みの状況にある。

- スマートフォン向けについて、中国メーカー向けは、中国の消費の冷え込みの影響から減少しているほか、北米メーカー向けも含め、世界的なスマートフォンの買い替えサイクルの長期化などから受注が落ち込んでおり、在庫も積みあがっている。(電子部品・デバイス、中堅企業)
- 後発医薬品の需要が引き続き増加しているため、製剤工場及び原薬工場ともに、今いる人員をフル動員して生産ラインの稼働に対応している。(化学、大企業)
- インド向けが好調な内需を背景に増加しているほか、中国向けも堅調で、工場は高操業を続けている。(生産用機械、大企業)
- ビル用建材については動きがみられるものの、持家の着工戸数が減少傾向にあることから、住宅用建材やエクステリアの動きが鈍くなっている。(金属製品、大企業)
- 主力の車両資材については、半導体不足による自動車減産の状況が解消に向かっており、前年同期比では売上・利益ともにプラスとなっている。(繊維、大企業)

■ 雇用情勢 「緩やかに持ち直している」

有効求人倍率は緩やかに低下しているものの、求人は底堅く推移している。新規求人数、新規求職者数ともに前年を上回っている。雇用保険受給者実人員は前年を下回っている。以上のことから、雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

- 足下は外需を中心に繁忙となっており、派遣職員を増員して対応している。(生産用機械、大企業)
- 生産水準を落としていることから人員が過剰気味であり、現場作業員の中途採用を止めているほか、退職などに伴う補充も行っていない。(電子部品・デバイス、中堅企業)

- 製造ライン、総務系統、技術者とすべてにおいて深刻な人手不足に陥っていることから、生産ラインをフル稼働できない状況となっている。(繊維、中小企業)
- 特に食品売場で人員が足りない。依然として食品スーパーやドラッグストアの新規出店もあり、人員の取り合いになっている。(小売、中堅企業)
- 温泉旅館では、繁閑の差が大きいことや、地域に若者が少ないことから人手不足が継続しており、休日など予約が集中する日は一部断ることもある。一部では技能実習生を受け入れることなどにより対策している。(観光協会)

■ **設備投資** 「4年度は増加見込みとなっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年1-3月期

- 製造業では、情報通信機械器具などが増加となるものの、金属製品、生産用機械器具などが減少となることから、全体では減少見込みとなっている。
- 非製造業では、情報通信などが減少となるものの、小売、運輸・郵便などが増加となることから、全体では増加見込みとなっている。

- 生産設備の拡充などにより、増加見込み。(情報通信機械器具、大企業)
- 新規出店や物流倉庫の整備などにより、増加見込み。(小売、中堅企業)
- 前年度に実施した大型投資の反動などにより、減少見込み。(金属製品、大企業)

■ **企業収益** 「4年度は減益見込みとなっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年1-3月期

- 製造業では、繊維工業などが増益となるものの、情報通信機械器具、自動車・同附属品などが減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業では、情報通信などが減益となるものの、学術研究・専門・技術サービス、運輸・郵便などが増益となることから、全体では増益見込みとなっている。

■ **企業の景況感** 「『下降』超となっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年1-3月期

- 企業の景況判断BSIは、製造業、非製造業ともに「下降」超となっている。なお、先行きは、全産業では5年4-6月期、5年7-9月期ともに「上昇」超となる見通しとなっている。

■ **住宅建設** 「弱含んでいる」

- 新設住宅着工戸数でみると、弱含んでいる。

■ **公共事業** 「前年を下回っている」

- 前払金保証請負金額でみると、前年を下回っている。

■ **金融機関の貸出金** 「前年を上回っている」

- 金融機関の貸出金は、前年を上回っている。

■ **企業倒産** 「前年並みとなっている」

- 負債総額は前年を下回っているものの、件数は前年並みとなっている。

■ **消費者物価(金沢市、生鮮食品を除く総合)** 「前年を上回っている」

- 消費者物価指数でみると、前年を上回っている。

3. 各県の総括判断

	前回 (5年1月判断)	今回 (5年4月判断)	前回比較	総括判断の要点
石川県	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している		個人消費は緩やかに持ち直しており、生産活動は足踏みの状況にある。また、雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
富山県	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している		個人消費は緩やかに持ち直しており、生産活動は足踏みの状況にある。また、雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
福井県	持ち直しの動きに一服感がみられる	持ち直しの動きに一服感がみられる		個人消費は持ち直しつつあり、生産活動は弱含んでいる。また、雇用情勢は、持ち直している。